

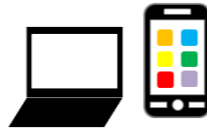
■ 危機管理型水位計とは？

- ・ 常時水位を観測するものではなく、大雨により河川の水位が上昇した時のみ、観測を行う簡易水位計のことです。
- ・ 観測した水位データは専用Webサイトに公開され、パソコン・スマートフォンでご覧頂けます。
- ・ 通常時は24時間に1回、大雨で水位が上がると10分に1回の観測水位が表示されます。

■ 水位情報の閲覧方法

- ①『川の水位情報』 (<https://k.river.go.jp/>) にアクセス
- ②地図が表示されるので、閲覧したい地域を拡大
- ③危機管理型水位計アイコンをクリックする

●QRコード



○ 閲覧画面



危機管理型水位計(電波式)

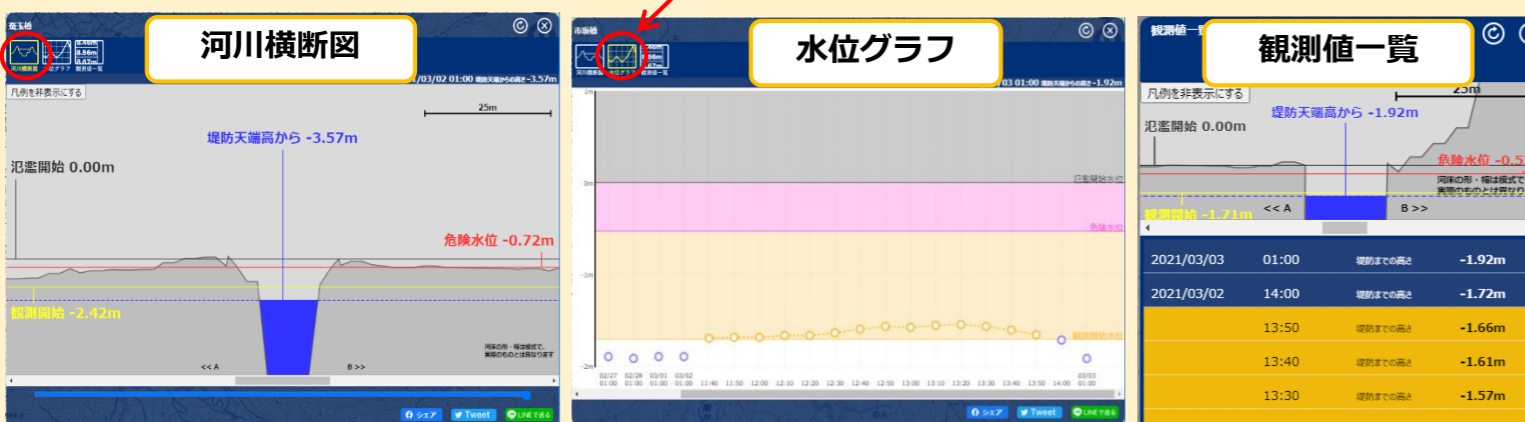


※各種基準水位を超えるとアイコンの色が変化します。

- 観測開始水位
河川断面の約20%にあたる水位。河川水位がこの高さを超えると水位計が10分おきに観測を行います。
- 危険水位
河川断面の約70%にあたる水位。避難行動を開始するための目安となります。

○ 詳細画面

左上のアイコンから河川横断面図、水位グラフ、観測値一覧へ画面切り替えが可能



・ 河川部分に水面の位置と堤防天端からの高さが表示されます。

・ 水面位置が青い点線に表示されるため、付近の地盤高と水面の位置関係を視覚的に確認することができます。

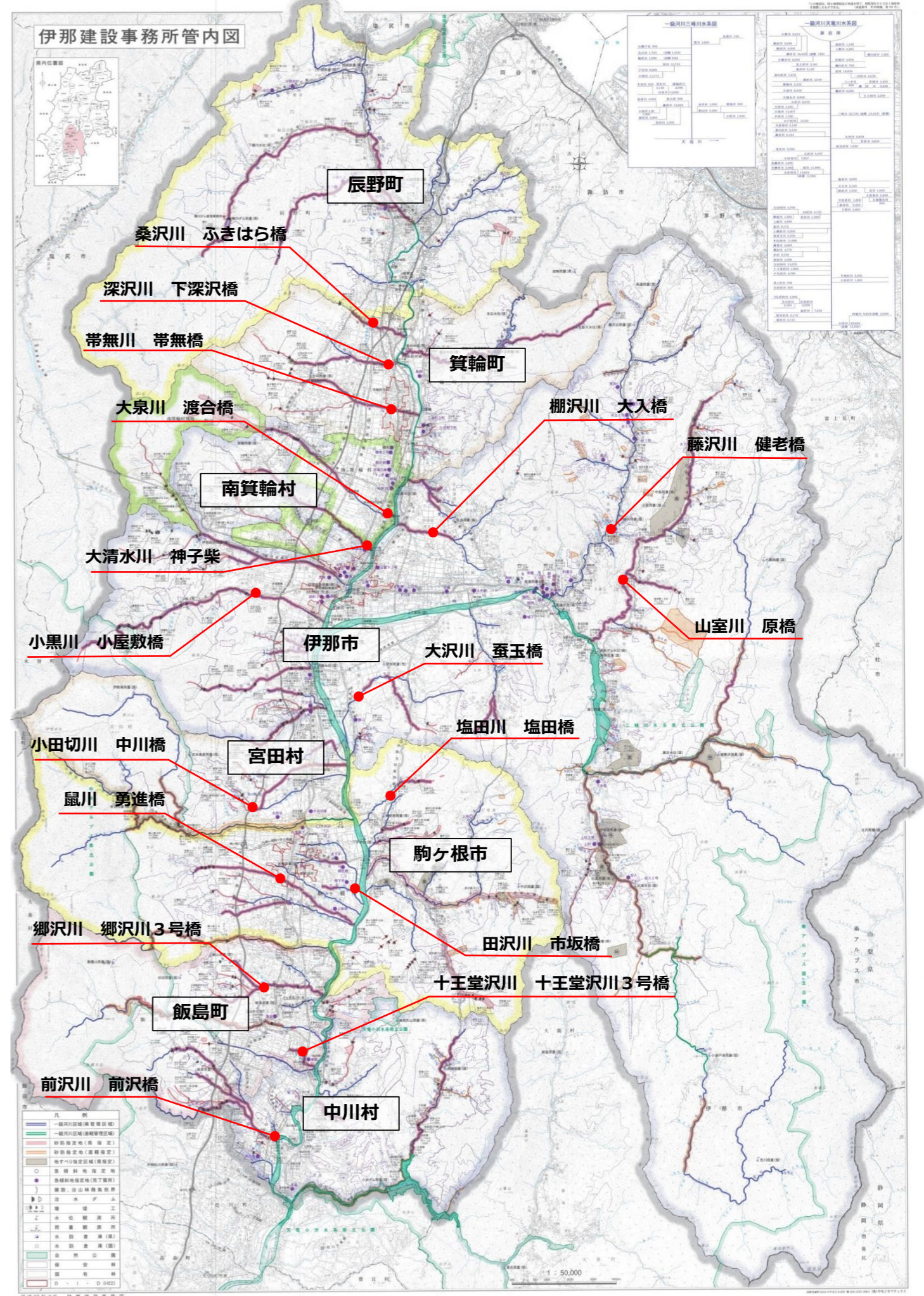
・ グラフは氾濫開始水位を0mとした水面の位置をm単位で表示しています。

・ 水位が「観測開始水位(黄色線)」より低い場合、24時間に1回の観測結果が、超える場合は10分に1回の観測結果が表示されます。

・ 観測日時、堤防天端からの水位高さ観測結果が、新着順に上から表示されます。

■ 設置位置図 (県管理分)

※令和3年3月5日現在



※上記とは別に、直轄管理河川には危機管理型水位計(国管理)が設置されています